

社会福祉法人 明德会 広報誌

VOL. **100**  
2018 AUGUST

# Challenge News



# 号

## 明德会の軌跡

since.APR.01.2005



社会福祉法人 明德会  
SOCIAL WELFARE COMPANY  
**MEITOKUKAI**



# ありがとう！ チャレンジニュース100号

## 100号発刊を迎えて



理事長  
樺嶋 潤一郎

この度は、チャレンジニュース100号を発刊する運びとなりました。とても嬉しく思うとともに、これまで支えていただきました皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

当法人はチャレンジめいとく の里開設から始まり、障害福祉を軸に障がいがあってもなくても誰もが暮らしやすい社会、「安心・安全・安らぎの福祉社会創造にチャレンジ！」を理念とし施設運営はもちろん一般社 会に向けても様々な取り組みを行ってきました。

その重要な役割を担っているのがこのチャレンジニュースだ と思います。情報公開やお知らせ等の情報発信だけではなく、日頃のご利用者様の様子や法人で働いている職員の思いや奮闘 記などを発信することで、多くの方の心を和ませ、時には勇気 づけ、その影響力はとても大きなものだと思います。

当法人は、社会福祉法人としての責務を果たすために広報活動を通して一人でも多くの理解者が増える活動が続けていきたいと思います。

今後もチャレンジニュースの より一層の充実と発展を図って参りますので、チャレンジニュースをどうぞよろしく願います。



平成30年4月1日 / 職員集合写真



平成30年度運営ポリシー「笑顔」





チャレンジめいとくの里  
施設長 平川 貞俊

## 100号を記念して

平成17年4月、ご利用者様・ご家族の熱い期待のもと、チャレンジめいとくの里が開所し、開所と同時に広報誌「チャレンジニュース第1号」を創刊いたしました。それから、月日は経ち、チャレンジめいとくの里も13年目を迎え、100号の記念すべき特集号を発行する運びとなりました。これも、ご利用者様やご家族の皆様、後援会の皆様、さらに地域の皆様方をはじめ、関係者の皆様方の深いご理解とご協力の賜と心からお礼申し上げます。

さて、私は平成25年10月からチャレンジめいとくの里の施設長を仰せつかっています。そして、

私が就任のご挨拶をさせていただいたチャレンジニュースから4年半余あまりが経ちました。その間、お読みいただいた方々から、「写真が多くて、内容が分かりやすいですね。」や「広報誌のデザインもよく工夫されていますね。」などの評価をいただいています。この評価を励みに、さらに明徳会の笑顔あふれる記事をお届けできるように誌面作りを工夫し、皆さんにお届けしていきたいと思えます。

今後とも、皆様のより一層のご指導・ご支援を賜りますようお願いいたします。



平成27年 / 開所10周年。全員集合！



ケア・ハピネス  
施設長 松村 忠彦

## 100号を振り返って

ご家族や地域の皆さんに施設の様子をお伝えしたいと始めたチャレンジニュースが、この度100号を迎えました。

開所以来、「支援費制度」から「障害者自立支援法」への移行、そして「障害者総合支援法」への移行と目まぐるしく制度改革に対応してきました。チャレンジニュースを振り返ると、制度に合わせて移り変わっていく明徳会の様子が伺えます。

19号（18年10月）で生活介護と自立訓練を行う多機能事業所「サポートセンターめいとく」への移行を。26号（19年5月）では今年度に熊本市の委託を受け「熊本市障がい者相談支

援センターチャレンジ」となった、めいとく福祉相談室の立ち上げを紹介しています。さらに68号（23年2月）で「チャレンジめいとくの里」と「サポートセンターめいとく」を一体化して「ゆめくらしワークス事業」を加えた障害者支援施設「チャレンジめいとくの里」への移行を。89号（27年10月）では障がい福祉サービス事業所「ケア・ハピネス」の開所をお伝えしています。

今後もチャレンジニュースを始め、公式サイトや職員ブログ等を通して、情報発信していきますので、こちらも是非、検索いただきますようお願いいたします。



平成27年 / ケア・ハピネス開所式





# 100号分の 笑顔がありました



## 100号記念によせて

### 入所部の歩みとこれから

チャレンジめいとくの里にオープンした時、オレンジの屋根に正面玄関の緑が眩しく、板張りのホールは輝き、これからどんな出会いが待っているのかと胸が高鳴ったことを昨日のように覚えていきます。

入所定員50名からスタートしためいとくの里でチャレンジニュースは入所ご利用者様の様子をご家族に発信する内容でスタートしました。現在では、色々な部署が増え、その場所場所で明徳会のシンボルマークのようにご利用者様のことを中心に考えながら歩みを進め、その歩みを発信する媒体となっています。

平成30年度より日中活動は入所部・通所部を一部分離し、よりご利用者様のニーズに沿った支援ができるよう取り組みを特化していこうとしています。

明徳会の各事業所では基本理念『安心・安全・安らぎ』をスローガンとし、毎朝唱和しています。その中で私が好きな一節が『新しい家族のカタチがここにある』です。入所部の家族のカタチをどうのようにつっていくか。開所時の気持ちを忘れず、これからもご利用者様が輝けるようにご支援していきます。

サービス管理責任者 園田英樹





## 創刊号

### 記念すべき第1号の チャレンジニュース

この時の内容は、職員紹介を記事にしてありました。皆さん若々しいですね。

## 第27号



ご利用者様の楽しみの1つであるディスコの特集が組まれていました。現在でもディスコは健在です。

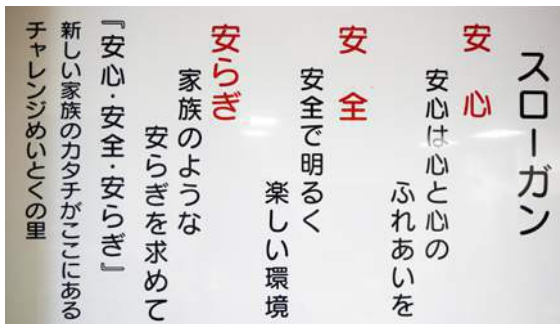


## 第98号

ご利用者様1人ひとりに合った支援の紹介を行っています。

この年の旅行では、グループの枠を超えて、3つの中から行きたい旅行をご利用者様に選んで頂きました。

## 第62号



### 明徳会基本理念スローガン

各事業所で毎朝唱和を行っています。スローガンの文面は開所時の職員から募集し作成されました。



### 明徳会のシンボルマーク

「チャレンジ (C) の中に楽しそうな人がいる」という思いを込めた、当時の荒尾養護学校にお勤めされていた吉永幸宏先生によるデザイン。





ミルク牧場外出(平成19年)



平成17年5月16日

START

1人のご利用者様  
からスタート!



平成17年5月16日撮影



いちじく植樹(平成19年)



平成17年4月1日開所



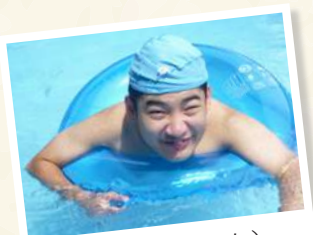
休日活動(平成21年)



送迎車両(平成18年)



小さな親切実行章受章(平成17年)



プール(平成22年)



成人式(平成20年)



豆まき(平成18年)



ディスコ(平成17年)

## 100号によせて

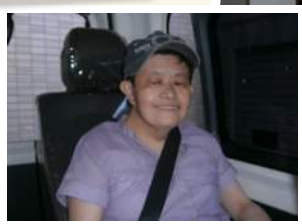
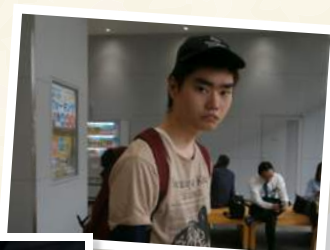
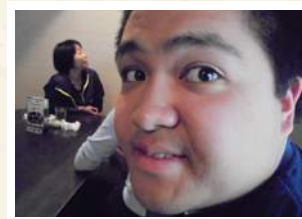
平成17年4月に「めいとくの里デイサービスセンター」としてスタートして、5月16日に初めてのご利用者様が来園されました。初めてのご利用者様が嬉しく、事業所の前で記念撮影をしたことを今でも覚えています。これからも、初心を忘れず頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

サービス管理責任者 福山 勝弘



## これからの通所部・・・

平成30年度から、日中活動(生活介護)において通所のご利用者様と入所ご利用者様との活動場所を一部分離いたしました。入所支援は、主に生活面や健康面に留意した活動提供に対して、通所のご利用者様への支援は日中活動を充実させていくことが必要だと考えます。日中活動の充実に向け「意思決定支援」と「社会生活支援」に重きを置き、ご利用者様の意思を尊重すると共に社会との繋がりを持てるような日中活動の提供を図りたいと思います。



今年度の運営ポリシー  
笑顔!(^^)!  
これからも笑顔を大切!  
未来へ

平成30年



こんなに増えました!





# 本人らしい働く生活の実現を応援する

ゆめくらしワークスの歩み  
サービス管理責任者 中田安俊

平成20年5月に明徳会の就労系事業はスタートしました。ゆめくらしワークスには学校卒業後の社会生活についてのご相談や、就業する中での悩みや困り感の解決について、また、障がい当事者やご家族より多くのご相談があり、一緒に考えてきました。事業部では複数の就労系福祉サービスを展開し、社会制度の運営と活用をしながら、お一人おひとりの自己発揮のカタチづくりをお手伝いしています。私たちの活動を通して、障がいのある方も地域で豊かに働き暮らす社会の実現の一端を担えればと思っております。

今回はその取り組みについてご紹介をさせていただきます。



## WORK STATION

チャレンジめいどくの里

就労移行支援事業  
就労継続支援B型事業  
自立就労生活支援事業



### 100号によせて

私は、チャレンジニュースを就職活動で初めて見ました。広報誌からは、事業所の様々な取り組みやご利用者のいきいきとした表情に惹かれました。今後は、私もそんな広報誌を作成していきたいです。  
就労移行支援 瀬戸口

ゆめくらしワークス事業部





## 各事業部の取り組み

### 生活訓練 / カフェ運営



社会復帰に自信をつけたい、人とのコミュニケーションが上達したい、将来のためのステップアップをしたいなど様々な思いのある方が自信を積み重ねられる場所です。カフェ運営やセミナー、社会体験などのプログラムからこうなりたい!という一人ひとりの想いをプランにし、提案しています。

### 就労移行支援 / 企業見学風景



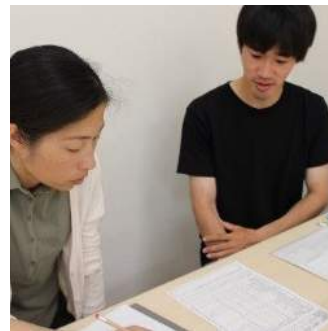
利用される皆さんが、自分らしい働く生活を実現するため、就職までの準備と就職後の働き続けることをサポートしています。開所以来、49名の方が企業就職を実現されました。これからも利用される皆さんの「働きたい」という思いに寄り添った支援を行なっていきます。

### 継続支援B型 / 委託作業風景



作物生産や竹炭、自社製品開発、委託作業、販売会等の作業を通して一人ひとりが主役となって働く場です。働く場では、役割を持ったスタッフ達がそれぞれの思いをカタチにし、自己発揮をしながら目標に向かって進むことで可能性を広げながら経験を積むことができます。

### ジョブコーチ支援制度 / 面談にて振り返り



明徳会では、3名のジョブコーチが、就業生活のサポートを行います。職場に訪問し、ご本人、企業の方と情報交換を行いながら、働きやすくなる方法の提案などを行うなど、サポートを行います。また、チャレンジめいとくの里の就労移行支援事業をはじめ、関係機関と連携を図り支援の体制づくりを図っています。

## ゆめくらしワークスからの地域への発信

### 労働・教育・福祉の連携 / ジョブコーチカンファレンス事務局



労働・教育・福祉その他関係機関と連携し、『卒業後の働く生活を描くセミナー』や地域の就労支援の現状とこれからの考える『ジョブコーチカンファレンス』の事務局を担当しました。これにより、実践を発信することができ、新たな就労支援の輪を作ることができました。

### ゆめくらし出前講座 / 出前講座



これから働く生活を希望されている障がいのある方、ご家族、支援機関の方々へ、地域情報発信として「ゆめくらし出前講座」を開講し、企業での就職事例や生活に役立つセミナーを通した学びの機会を作ってきました。

### 地域協議会 / 情報誌「しごといく」



熊本市自立支援協議会就労部会に参加し、障がいのある方の就業生活支援、企業への障がい者雇用の普及活動を行ってきました。情報誌「しごといく」発行、企業セミナー開催等に携り、地域連携を行なっています。

### 生活訓練訪問支援 / 訪問支援



自宅に訪問し、地域生活を続けていく中での生活面で困っていることが自分のできるように、視覚的なツールを用いて、トレーニングを行う福祉サービスです。





2016年夏、記念すべき第1回目のハピネスランドが開催されました。



名物コーナーの白バイ乗車体験はご利用者様に大人気です！



ご利用者様のいきいきとした表情が印象的でした！

## 地域の憩いの場を目指して

昨年度から「かじおハピロバ」を開設しました。より地域資源としてハピネスが様々な方にご利用していただく為、平日はもちろん、土日も常時解放しています。ここから人と人が繋がり、たくさんのコミュニティと楽しみが生まれることを望んでいます。ハピネスとしてもイベントを通してかじおハピロバの使用普及に努めてまいります。どうぞお近くに来られた際には、様子を見に来てください。



# ORIGINAL ITEM



ケア・ハピネスのご利用者様が作る  
素敵な作品たち。



バスボム

ロールケーキ



香り玉



コーヒー



フォトフレーム



私たちが作っています！



## 100号によせて

今年でケア・ハピネスが開所して4年目になりました。

まだまだ新しい施設なので広報紙などを通してたくさんの楽しいと感じられる出来事を発信したいと思います。これからも明徳会の中で楽しい思える環境を創り出して行きます。これを見られた方は周りの方を誘っていつでも遊びに来てください。

サービス管理責任者 村上 学





**O・Tさん**

私は、一人で美容室やお買い物に行くことが出来るようになりました！



**M・Sさん**

私は、部屋の掃除をするようになりました。あと、携帯電話を使って電話をするようになりました！



**U・Tさん**

私は、食器洗いと食器の片付けのお手伝いをする事が出来るようになりました！

**M・Yさん**

私は、自分の洗濯物は自分でするようになりました！



**K・Yさん**

皆に自分の気持ちを伝えることが出来るようになりました。笑顔で過ごしています！



☆オレンジハウスの地域での取り組み☆

- 地域の区役に参加  
町内の清掃活動を行っています。
- ジュース購入  
オレンジハウス横の自動販売機まで一人で行き、飲み物を購入しています。
- 校区の夏祭りに参加  
地域の方と一緒に夏祭りに参加し交流を深めています。
- 花植え  
プランターで花を植えて、公民館に飾っています。



100号によせて

オレンジハウスも今年度で、早8年目を迎えました。改めてチャレンジニュースを見返してみると、入居されている方皆さんとも成長されたなあと実感させられます。今後もチャレンジニュースの中で生き活きと地域生活を送られている皆様のご様子をお伝えしていければと思っております。

サービス管理責任者 石井 康成

# オレンジハウスに入居してできるようになったことや成長したところは何ですか？



## M・Kさん

私は、毎日掃除をするようになりました!毎日廊下掃除を頑張ってます!



## N・Sさん

私は、洗濯物や料理の準備をするようになりました!スマートフォンも使い始めました☆



## K・Yさん

私は、台拭きやおかずの注ぎ分けをするようになりました!

## A・Yさん

私は、洗濯物を自分でするようになりました!



## O・Hさん

私は、掃除と食器洗いをできるようになりました!声を出して挨拶するように頑張っています!



## お悔み

ゆめくらし事業所に入居されておりました樺嶋優子様が平成30年6月6日午前6時57分にご家族に見送られながら永眠されました。ご家族のご心痛はいかばかりかとお察し申し上げます。

樺嶋常務理事のご息女、また樺嶋理事長のご兄妹でもあられ、明德会の設立のきっかけとなった方でもあります。いつもニコニコと笑顔で過ごされ、一緒にそばにいただけで優しい気持ちになれる方でした。チャレンジめいとくの里の開所時より入所され、その後オレンジハウスの開所と共に入居され、地域の中で生活をされていましたが、体調の悪化で入院となられました。闘病生活でご本人・ご家族共に大変な日々であったと思います。謹んでご冥福をお祈りいたします。





# CHALLENGE TO THE FUTURE

## 水道町で頑張っています！

私たちがお待ちしています。  
お気軽にご相談ください！



チャレンジオリジナルのイベント開催やSNSを用いた情報発信。明徳会らしく、みなさんが笑顔になれるような相談支援の拠点になります！



熊本市障がい者相談支援センターチャレンジ

住所：熊本市中央区水道町12-1 1-B号

Tel：096-312-3550

Mail：soucha@meitokukai.jp

開所日時：月～金 9時～17時

平成30年4月

熊本市障がい者相談支援事業

(中央区1)の業務委託を受ける。

『熊本市障がい者相談支援センターチャレンジ』へ名称変更

平成25年4月

相談員2名体制へ！

平成24年10月

特定相談支援・障害児相談支援・  
一般相談支援、熊本市指定を受ける

平成23年7月

植木町に移転 名称変更

「地域生活支援センターチャレンジ」

平成22年4月

熊本市より相談支援の指定  
を受ける

平成21年8月

「めいとく福祉相談室」熊本県指定

平成17年4月

チャレンジめいとくの里開所

最初は相談員  
1人からの  
スタート！





歴代広報編集者に聞きました！

## 広報誌作成の思い出と100号記念メッセージ



ゆめくらしワークス事業部  
サービス管理責任者

中田 安俊 Yasutoshi Nakata

広報誌第1号の作成に取り掛かったのは開所日1週間前の事でした。初めて入所を利用されるご家族も多く、事業所で暮らす皆さんの様子を伝えられればと毎月発刊にしました。発刊はハードで日付を跨ぐこともしばしば。ですが明德会を創る楽しみを支援員皆で語りながら120%の力を出した当時を思い出します。この最大限の力で応えることが明德会のスピリッツです。思いの引き継がれる広報誌である事を願います。



チャレンジめいとくの里  
生活支援員

酒井 誠 Makoto Sakai

私は初年度から4年間広報担当者を行っていました。初めは何も分からずに先輩職員の方が編集されている姿を後ろから見て勉強させて頂いていました。その後はページ数も任せられ、自信になったことを覚えています。今後も魅力あるチャレンジニュースになって欲しいと思います。



ケア・ハビネス  
サービス管理責任者

村上学 Manabu Murakami

めいとくの里の開所から色々な場面で携わっていました。私が主に編集をしていたのは6年前に毎月作成と編集をしていました。日頃から記事になることを探し、おかげで周りをよく見るようになりました。広報作成に携わったことで自分自身の進歩もあり今後も携わる職員も何かを学び取ってくれたらと思います。



熊本市障がい者相談支援センター  
チャレンジ  
相談支援専門員

中島 裕輔 Yusuke Nakashima

各事業所持ち回りで広報誌を作成していた時代、入所部として編集に携わりました。特に思い出に残っているのは職員川柳。多数の応募がありました。掲載できるのは6名分…。泣く泣く厳選した記憶があります。これからも職員の魅力も発信できるような広報誌であって欲しいなと思います。



ゆめくらしワークス事業部  
生活支援員

堀人 恵 Megumi Horihito

チャレンジニュース79号から広報委員として携わりました。いろいろな思い出があり、88号では障害者雇用をされている職場へ取材に行かせて頂いたこともありました。みなさんの協力があり、進めることができました。入社前に出会ったチャレンジニュース！これからもめいとくの広報誌を見ることが楽しみです。



チャレンジめいとくの里  
生活支援員

梅原 篤 Atsushi Umehara

私は2年間チャレンジニュースの作成に携わらせて頂きました。開所とともに歩み続けるチャレンジニュース。開所当時を知らない私が広報誌を読み返し、めいとくの歴史に驚きを持った事を今でも覚えています。今後もめいとくらしい広報誌として皆さんに素敵な話題を届けてくれると期待しています！！



障がい者支援施設

## チャレンジめいとくの里

生活介護 施設入所支援 短期入所 日中一時支援

〒861-5503 熊本県熊本市北区明德町 707-1

Tel. 096-215-9101 Fax.096-245-2344 c.meitoku@meitokukai.jp

## ゆめくらしワークス事業部

就労移行支援 生活訓練 就労継続支援 B型

Tel. 096-215-9103 Fax.096-273-6343

meitokunosato-works@meitokukai.jp

障がい者グループホーム

## ゆめくらし事業所 orangehouse

共同生活援助

〒861-5503 熊本市北区明德町 948-1

Tel. 096-223-5161 Fax.096-245-5951 yumekurashi-orange@live.jp

## 熊本市障がい者相談支援センター チャレンジ

相談支援事業

〒860-0844 熊本市中央区水道町 12-1 1-B 号

Tel. 096-312-3550 Fax.096-312-3551 soucha@meitokukai.jp

障がい福祉サービス事業所

## ケア・ハピネス

生活介護

〒861-5512 熊本市北区梶尾町 1379-3

Tel. 096-245-6611 Fax.096-245-3399 happiness@meitokukai.jp



明德会公式サイト

明德会フェイスブックページ

明德会インスタグラム

ゆめくらしワークスフェイスブックページ

めいとく日和 (職員ブログ)

<http://www.meitokukai.jp>

<https://www.facebook.com/meitokukai>

<https://www.instagram.com/meitokukai>

<https://www.facebook.com/yumekurashiworks>

<http://ameblo.jp/meitokukai>

明德会公式サイト

